

あかるく 元気に たくましく



広島市立広島特別支援学校

学校だより

令和3年度 3月号 TEL 082-250-7101

広島特別支援学校 HP



御卒業おめでとうございます

□ 第27回広島市立広島特別支援学校高等部卒業証書授与式

令和4年3月8日(火)、第27回高等部卒業証書授与式を挙行了しました。昨年同様に卒業生と保護者、学校教職員とPTA会長・副会長、生徒会長の石井彰君が参列しました。心も体も立派に成長した卒業生の皆さん、自立に向けて本校で学んだ誇りを胸に、これからも本校の目指す子ども像である「明るく 元気に たくましく」歩んでいってください。皆さんをいつまでも、いつまでも応援しています。



卒業式のテーマ「共に過ごした最高の仲間 思い出と希望を胸に さあ行こうみんなの未来へ」を心に、卒業生82名が、校長先生からの証書を大事そうに受け取っていました。



「ありがとうさようなら会」では、お世話になった先生方に感謝の気持ちを込めて花束を渡しました。

□ 第39回広島市立広島特別支援学校中学部卒業証書授与式

令和4年3月15日(火)、第39回中学部卒業証書授与式を挙行了しました。コロナ禍での中学部3年間となり、日々の学習や行事が制限されることも多くありました。生徒はその状況下でも、あらゆることにチャレンジし、最後の授業である卒業式においても前向きな姿に感動しました。高等部での一層の活躍を期待しています。



証書を受け取った笑顔は、達成感でいっぱいです。



在校生の卒業祝いメッセージ！卒業生ありがとうの花が咲くよ！



あらゆることを乗り切ったみんなとっても素敵だ！



あたらしいあしたへ！

□ 第39回広島市立広島特別支援学校小学部卒業証書授与式

令和4年3月17日(木) 第39回小学部卒業証書授与式を挙行了しました。6年生が大切にしてきたのは「なかま」という言葉です。「なかま」とともに経験を積んだ6年間。友達が大好き。先生が大好き。という気持ちを感じられる心温まる式となりました。小学部最後の授業である卒業証書授与式でも一人一人が証書受け取りでの返事や表情、呼び掛けでの言葉やまなざし、手話の動きなど、それぞれの表現方法で小学部6年間の成長を伝えることができました。



初めての卒業式、心地よい緊張感のある会場で、みんなに見守られながら立派に証書を受け取りました。



なかなか全員で集まって呼びかけの練習ができませんでしたが、各学級で練習を重ねた成果を披露することができました。



各学部の卒業式当日に出席できなかった児童生徒には、後日、家庭や校長室で、一人一人校長から卒業証書を授与しました。

最後になりましたが、高等部、中学部、小学部卒業生の保護者、御家族・施設の皆様におかれましては、感慨ひとしおのことと存じます。これまでの子育ての御労苦に敬意を表しますとともに、本校の教育に御理解と御協力を賜りましたことに厚くお礼申し上げます、心よりお祝い申し上げます。

また、心温まる多くの祝電・祝詞を賜りました皆様に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

□ 3月7日（月）本年度最後の学校説明会を実施しました。

事前に72名の申し込みがあり、当日は56名の保護者に御参加いただきました。御多用の中、御参加いただきありがとうございました。

今年度の課題に対する取組と来年度の方向性についてお話しいたしました。今年度は、医療的ケアの在り方について多くの御意見をいただき、また、学校も試行錯誤を重ねつつ改善に取り組んできました。今後は、あらたに策定した医療的ケア実施要項をもとにして保護者の皆様と合意形成を図りながら取り組んでまいります。

1月にはてんかんに関する研修会を実施しました。てんかん発作への対応も大きな課題と捉えています。緊急時の対応と日常生活、学習指導の両輪を意識した指導を進めていきます。

また、あいさつ、身だしなみ、公共の場でのマナー等、基本的な生活習慣やソーシャルスキルの指導は、自立に向けた大切な指導内容であるとともに、犯罪やトラブルをさけ身の安全を守る力になります。児童生徒の健康と安全は、こうした視点をもって取り組みます。

保護者の皆様からは、「来校する機会が減ったので、子供の様子が分かりにくい。」「もっと情報共有してほしい」という要望や、児童生徒の実態把握とそれに基づいた指導を望む声を多くいただきました。

学校説明会后に頂いたアンケート結果を以下にお示しします。こうした御意見や御要望をしっかりと受け止めて、今後も児童生徒の一人一人の教育的ニーズに対応していきます。

<p>本年度の取組について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ渦の中で、学校での子供の様子が分かりにくい、行事が少ない、担任とのコミュニケーション不足等の問題を再認識した。 ・ 自分の子供の学級では、「できた！分かった！もっとやりたい！」という授業ができていると思う。いつ学級に行っても、子供たちがイキイキと活動している。 ・ 「自立と社会参加」は最終的な目標。簡単ではないが、周囲はもちろん、本人の努力も必要。一年経過するのは早いので、いろいろと身に付けてほしい。早く製菓ができるようになればよい。
<p>要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ GoogleClassroomを活用し、学年または学級での懇談ができるとうよい。 ・ 問題が起こってから行動するのではなく、何が問題となりうるのか、日頃から緊張感をもった対応を心掛けてほしい。 ・ たくさんの方が参加しているので、質問するのに躊躇した。もう少し規模を小さくして、学部ごとに開催してはどうか。 ・ 資料は早めにほしい。 ・ 本人からの発信が難しい子供が多いこともあり、子供達とはもちろん、保護者と教員との信頼関係が子供達の成長には大切ではないかと思う。引き続き、子供達に寄り添い、嘘のない誠実な対応をお願いしたい。 ・ 日々の連絡帳に細かく書いてもらっているが、持ち物や通学のこと、今後の体験実習についてなどの連絡が大量にあり、実際の授業でどのような学習しているのかは、個人懇談以外には分からない。学校での経験を家庭での取り組みに生かすためにも、学習の様子が知りたい。 ・ 学級だよりが少ないという意見があったが、文章を発行する時間や手間を、子供に向き合う時間に、または先生の負担を減らす方向に考えてほしい。 ・ 質問については、ざっくりした答えだったので、もう少し答えてほしかった。 ・ 思春期に入り、体の変化に伴っててんかん発作等体調の変化が気になっている。今後も担任同士の情報共有をしっかりと行った上で、支援の継続をしてほしい。
<p>感想・質問等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段聞けない多くの保護者の話が聞いてよかった。 ・ リモート、来校の両方が選べるとよい。 ・ コロナ渦の中、学校や保護者間での情報共有やコミュニケーションを得ることの難しさがあり、皆さん不安を抱えていることが分かった。 ・ 発作時の対応は、今後動画で伝えることは可能か。 ・ ギガスクールのタブレット配付が遅れている。原因は何か。